

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年の冬は、年末からの寒波で冷え込む日が続いています。大雪に見舞われている地方もあるようです。皆様におかれましては相変わらず日常臨床に忙しい毎日を過ごしているんじゃないかと思いますが、体調管理には十分ご留意され、本年も益々ご健勝で活躍されんことを祈念いたします。

さて、新年最初の特集は、「眼圧を評価する」です。序論のところでも述べましたように、緑内障は、非眼圧の要素にも影響される多因子疾患ではありますが、我々臨床医としては現時点では眼圧をしっかり見極めてからその先を考えるべき疾患であることも再認識したいものです。綜説は、陳先生による「房水流出路と緑内障手術」です。マイトマイシンを用いた線維柱帯切除術が緑内障手術としてはいまだ主流ではありますが、眼圧下降効果が増強され、小切開創でも施行できかつ合併症も少ない、シェイプアップされた流出路再建術が見直されてきています。もうひとつの綜説は、

石龍先生による「慢性型中心性漿液性脈絡網膜症」です。いわゆるセントラリスは、私の研修医時代は、治りやすい疾患だから経過を見て、長引くようなら漏出点にレーザーを打てばよいと教えられました。しかしながら実際は奥が深い病態です。日常比較的良好に遭遇する疾患なので、対応法をしっかりと勉強しておきたいものです。シリーズ「機器・薬剤紹介」は、須藤先生によるSS-OCTによる眼軸長測定です。我々が汎用している(?)IOLMasterは、タイムドメイン方式です。その違いと有用性を解説していただきました。さらにシリーズ「眼瞼」は、眼瞼下垂手術に関する話題です。下垂手術は我々眼科医だけではなく、形成外科の先生も行っています。どのような違いがあるのでしょうか。形成外科医の朝村先生に語っていただきます。「原著」がひとつ、「臨床報告」がひとつあります。何度も申し上げますが、本誌は掲載料がカラー印刷であっても無料です。本誌の紙面をどんどん活用していただければ幸いです。(富田剛司・記)

編集：飯島裕幸・富田剛司・坪田一男・後藤 浩・雑賀司珠也・門之園一明・三村 治
編集顧問：所 敬・小口芳久・白井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治

「眼 科」 第60巻 第1号 1月号

2018年1月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY**＜（社）出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。